



小川かつみ

後援会 News



2016年 新年号

第24回 参議院選挙 比例代表



「価値ある未来」へ

平成二十八年が皆様にとりまして希望にあふれた輝かしい年となりますよう心から祈念いたします。

昨年六月総会終了後の場において決意表明をさせて頂きました。

以来全国四十七都道府県を巡らせて頂き、都道府県理学療法士会役員及び都道府県理学療法士連盟役員の方々と理学療法士の未来について多くの意見交換をさせて頂き、中には旨くも時間の限り施設訪問を組んで下さった都道府県も少なくありませんでした。

自由民主党 公認決定！

また、後援者名簿の第二次とりまとめにつきましても、わずかな時間の中で十五万名に届くかという、想像以上の名簿を集めて頂きました。感謝の言葉もありません。お陰さまで十一月二十二日には念願の公認を自民党から頂くことができました。これには上記の組織的活動と全国挙げての熱い思いが大いに評価されたものと実感しております。ヒアリングの場でも、しつかりとした組織であるとお褒めも頂きました。改めて皆様の心からなるご支援に感謝申し上げます。

さて、今回の出馬を決めた背景にはいくつかの理由があります。誌上ではとても述べきれませんが、何と云っても対立候補が対最終改定と言われる二年後の同時改定に万全の体制で取り組むことが最大の理由です。次に理学療法士の養成に関する諸問題、例えば、養成定数、教員数、教育期間等々、理学療法士の養成に関しては大きな課題が山積しています。

私達の職域、社会的評価など、すべては教育が根幹です。いかに良質の理学療法サービスを提供するか、ここを見逃して理学療法士の明るい未来は語れません。その他、身分法に関する問題、チーム医療の原則論的推進等の医療制度に関する諸問題など、理学療法士制度創設以来五十年を経過した今、五十年前の制度が今後に通用的なのか、改めて抜本的に見直さなければならぬ時期に来ていると考えています。

理学療法士にとって決して簡単な戦いではなく、私自身にとっても簡単な決断でもありませんでしたが、全国を一巡させて頂く中で責任の重さと同時に理学療法士仲間への熱い期待をひしひしと感じました。私ひとりの力では得ることはほんのわずかですが、仲間の皆様の思いがひとつになれば十万人の力となります。

理学療法士とそのユーザーの方々のため、共に手を携えて「価値ある未来」の扉を開きましょう！

小川克巳